

結 婚 講 座

小 鮒 實 牧 師

(1)キリスト教(教会)の結婚(観)について

「主なる神は言われた。『人が独りでいるのは良くない。彼に合う助ける者(ふさわしい助け手 (へ)エーゼル・ケネグドー)を造ろう。』」(創世記 2:18)

ケネグドー...足りないところを補い、余分なところは覆い、完全に一体なるものという意味、partner (パートナー)、共に歩むもの
神さまは、人間が一人で孤独に生きていくのではなく、パートナーを与え、一緒に生き、愛し合い、助け合い、幸せな家庭を作ること願っている。

「主なる神はそこで、人を深い眠りに落とされた。人が眠り込むと、あばら骨の一部を抜き取り、その跡を肉でふさがれた。そして、人から抜き取ったあばら骨で女を造り上げられた。主なる神が彼女を人のところへ連れて来られると、人は言った。「ついに、これこそわたしの骨の骨わたしの肉の肉。これこそ、女(イシャー)と呼ぼうまさに、男(イシュ)から取られたものだから。」こういうわけで、男は父母を離れて女と結ばれ、二人は一体となる。」(創世記 2:21-24)

あばら骨...頭の骨(男の上に君臨する存在)でも足の骨(男に隷属する存在)でもない。
共に歩むもの(パートナー)を象徴

「イエスはお答えになった。「あなたたちは読んだことがないのか。創造主は初めから人を男と女とにお造りになった。」そして、こうも言われた。「それゆえ、人は父母を離れてその妻と結ばれ、二人は一体となる。だから、二人はもはや別々ではなく、一体である。従って、神が結び合わせてくださったものを、人は離してはならない。」(マタイ 19:4-6)

神様による人間(アダム)(男(イシュ)・女(イシャー))の創造

結婚は神様による導き(摂理)、単なる運命、縁ではない
神様は結婚を祝福しておられる

(2)キリスト教の結婚式

聖書の言葉から

(夫に対する教え、妻に対する教え) Cf. コリ 3:18-19、1ペ 3:1-7

「妻たちよ、主に仕えるように、自分の夫に仕えなさい。キリストが教会の頭であり、自らその体の救い主であるように、夫は妻の頭だからです。また、教会がキリストに仕えるように、妻もすべての面で夫に仕えるべきです。夫たちよ、キリストが教会を愛し、教会のために御自分をお与えになったように、妻を愛しなさい。キリストがそうなさったのは、言葉を伴う水の洗いによって、教会を清めて聖なるものとし、しみやしわやそのたぐいのものは何一つない、聖なる、汚れのない、栄光に輝く教会を御自分の前に立たせるためでした。そのように夫も、自分の体のように妻を愛さなくてはなりません。妻を愛する人は、自分自身を愛しているのです。わが身を憎んだ者は一人もおらず、かえって、キリストが教会になさったように、わが身を養い、いたわるものです。わたしたちは、キリストの体の一部なのです。「それゆえ、人は父と母を離れてその妻と結ばれ、二人は一体となる。」この神秘は偉大です。わたしは、キリストと教会について述べているのです。」

(1コリ 5:22-32)

神様と人(会衆)との前での結婚式(誓約を公にする)

【誓約のことば】（新しい式文）

「（ ）、あなたはいま（ ）と結婚することを神の御旨と信じ、今から後、さいわいな時も災いに会う時も、豊かな時も貧しい時も、健やかな時も病む時も、互いに愛し、敬い、仕えて、ともに生涯を送ることを約束しますか。」

自分に都合のよい時だけの夫婦関係ではない。

順境、逆境を共に生きる姿勢（一心同体）。

契約関係（信頼関係）

神様と人間との契約（旧約、新約）、人と人との契約、夫婦契約（信頼関係）

契約は破るためにあるのではなく、守るためにある。

両親の戸籍から離れて、新しい一つの戸籍をつくる社会的行為

(3) 愛に基づく結婚生活（人間生活）

人間の関係

相手を見做している状態 - 無関係の関係

相手を利用する - 相手を物として扱う

相手と取引をする - give and take

共に生きる - 愛する（相手のために尽くす、損をする、自己犠牲）

愛の種類

エロス...愛する価値(意味)のあるものを愛する、美しいものを愛する、芸術

フィリア フィラデルフィア(兄弟愛)、フィロソフィー(哲学、知恵を愛する)

アガペー...見返りを期待しないで相手のために尽くす愛

愛する = 仕える = 奉仕する 愛し合う、仕え合う しあわせ

しあわせ（仕合わせ、大和言葉）= 幸せ、幸福

愛の現れ方の多様性

「たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、わたしは騒がしい
どら、やかましいシンバル。たとえ、預言する賜物を持ち、あらゆる神秘とあらゆる知識
に通じていようとも、たとえ、山を動かすほどの完全な信仰を持っていようとも、愛がなければ、無に等しい。全財産を貧しい人のために使い尽くそうとも、誇ろうとしてわが身を死に引き渡そうとも、愛がなければ、わたしに何の益もない。愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。愛は決して滅びない。」（コリント 13:1~8）

結婚生活（愛に基づく夫婦関係）

ア. 20代的人是情熱で結ばれている。

イ. 30代的人是努力で結ばれている。

ウ. 40代的人是忍耐で結ばれている。

エ. 50代的人是諦め（先を見通し、覚悟しながら進むこと）で結ばれている。

オ. 60代的人是労り（いたわり）で結ばれている。

カ. 70代的人是感謝で結ばれている。

愛はいろいろな形を持っている（単に情熱だけでなく、努力や忍耐、先を見通すこと、労り、感謝などの形を持っている） 愛の多様性

愛するということは、自分一人で、自分中心に、自分の利益だけを求めて生きることではない。お互いに仕え合っていく、相手のために尽くす、奉仕をするということである。